

未来に向かって、世界をあとと言わせよう！ ～新宿駅周辺地区の整備推進～

新宿駅周辺地域は、世界一の乗降客数を誇る「新宿駅」を擁し、商業集積で賑わう「東口地区」、高度に業務集積した「西口地区」、飲食・娯楽の街「歌舞伎町」など、多様なまちの活気が東京の集客力と経済を牽引しています。こうした新宿の魅力さをさらに高めるため、駅前広場とその周囲の新宿駅直近地区を核に、駅やまち同士の連携を強化し回遊性を高めることで、新宿駅周辺全体でのブランド・競争力向上を図ります。2020年には、東京オリンピック・パラリンピック開催と時を同じくして、新宿駅東西自由通路が供用開始されます。未来に向かって発展し続ける「賑わい都市・新宿」の実現に向け、新宿駅周辺のまちづくりを発進させます。そこで、平成28年3月に「新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン」を策定し、新宿駅周辺地域の目指すべき将来像を「誰もが自由に行き交う国際集客都市」と掲げ、3つのキーワード「Amenity 誰もが快適に回遊できる人中心のまち」、「Attractive 国内・海外からの注目を惹きつけ、様々な文化や賑わいが交差する国際観光商業都市」、「Activity 多様な機能の集積が、魅力的なワークスタイル・ライフスタイルを提供するまち」の実現に向け取り組んでいきます。

～東西自由通路開通をきっかけに東西のまちをつなぎ、回遊と賑わいを広げます～

◆新宿駅を中心としたまちの広がり

新宿駅周辺地域では、2020年に東西自由通路が開通し駅東西の回遊性が高まるとともに、賑わい交流軸、新たな文化や賑わいを創出する文化発信軸と、3つの拠点（新宿駅直近地区・新宿中央公園・新宿御苑）でまちの骨格を形成します。これら軸・拠点を基点に、多様なアクティビティによる快適な空間や地区内・地区間の回遊が展開し、まち全体に人々を呼び込みます。新宿駅直近地区は、巨大ターミナルを有する新宿の玄関口であるとともに、駅から各地区へ人と賑わいをつなげていく核であり、世界中から人々を呼び込み、まちへ送り出す拠点として重要な役割を果たします。

◆東西自由通路開通をきっかけとする将来のまちづくりの方向

○車中心から人中心の空間へ

■歩行者優先の広場空間

- ▷ イベントや待ち合わせなどができるゆとりある広場空間確保
- ▷ 東西の賑わい交流軸へつながる連続した快適な歩行空間の整備

■ユニバーサルデザインに配慮した交通結節機能

- ▷ だれでも利用しやすくバリアフリーな乗換動線の整備
- ▷ 国内外からの来街者にもわかりやすい案内表示や案内所の整備

○地域を象徴する駅前の顔づくり

■周辺建物と一体となった広場空間

- ▷ 地域全体での調和と駅東西の特性を活かしたシンボリックな空間形成
- ▷ 統一感と人の動きに配慮した駅前広場周辺の建物景観形成
- ▷ 多くの人を惹きつける機能集積による集客と賑わい強化

○駅とまちをつなぐ交流拠点づくり

■まちをつなぐ多層な歩行者ネットワーク構成

- ▷ 東西自由通路をはじめとした東西の動線強化
- ▷ 地下、地上、デッキレベルで駅とまちをつなぐ歩行者ネットワーク整備

■多様な歩行者ネットワークをスムーズにつなぐ

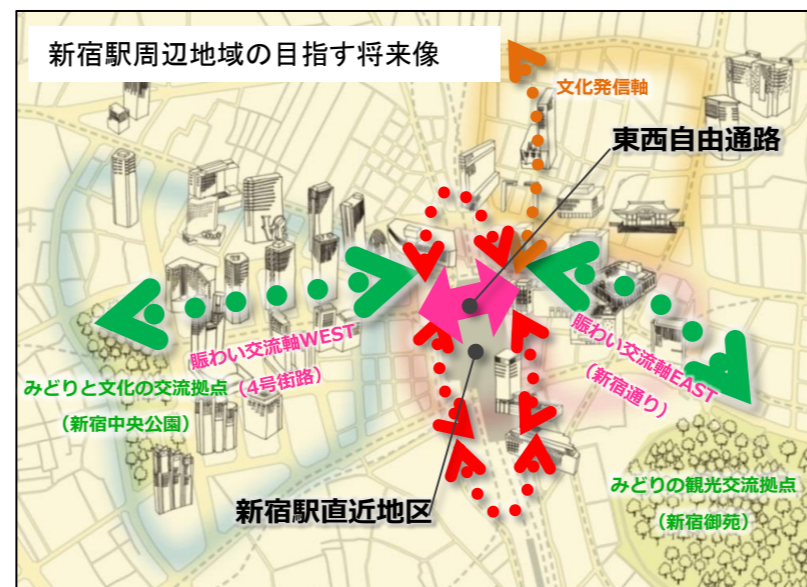
- ▷ 各レベルの歩行者空間を円滑につなぐ縦動線の整備

<新宿駅周辺地域の目指す将来像と東西自由通路とつながる広場空間のイメージ>

歩行者優先で案内がわかりやすくゆとりある広場空間



駅からまちへつながる人の流れのイメージ



「新宿駅周辺地域まちづくりガイドラインPR版(平成28年3月)」より

駅前の顔づくりとまちをつなぐ広場空間



駅からまちへつながる人の流れのイメージ

※区の検討過程で作成した広場空間のイメージであり、内容について決定されたものではありません。